

村上市認知症対策について

R3年2月末日 村上市認知症対策推進会議資料

【資料 7】

新オレンジプラン7つの柱	R2年度の実施状況	課題	R3年度の取組み予定
①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の開催 8回 259人受講 ステップアップ講座の開催 0回 	<ul style="list-style-type: none"> 企業や学校等へのPR不足 メイト（講師役）のフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の継続と職域や学校等への働きかけ
②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	<p>【発症予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症予防事業の実施 元気クラブ（5地区開催） 脳トレ運動教室 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の評価方法 新規参加者の掘り起こし 元気クラブスタッフの研修、資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> 元気クラブのような脳トレを身近な町内で行えるよう調整→元気アップ教室 スポーツクラブの自主運営への協力 身近に通える場づくりの推進
	<p>【早期診断・早期対応のための体制整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チームの活動（H29.12～） R2年度 1件 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チームでの対応が適切と考えるケースの選定 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、初期集中支援チームの活動を行う 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催
	<p>【医療・介護の連携推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポートガイドの利用 認知症地域支援推進員の設置（H29.1～） 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポートガイドを十分なPR不足 認知症地域支援推進員の活動を広げるまでに至っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポートガイドの普及と、内容の見直し 認知症地域支援推進員の活動継続
③若年性認知症施策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 随時、相談あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症に関する施策は無い。少数ではあるが、声を集めてつなげていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> （随時）黒川病院認知症疾患医療センターに配置されている若年性認知症支援コーディネーターとの情報交換、カフェ等での周知
④認知症の人の介護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの開催 市主催のほか各事業所やリハビリ大学でも開催中 村上市介護者のつどいの開催 2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの内容検討 介護者の要望に応えながら定期的に声を聴く機会をどのように設けるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの継続開催 カフェ開催事業所の再開状況把握 介護者のつどいの開催（2～3回）
⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進	<p>【地域の見守り体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者安否確認訪問、老人クラブ友愛訪問、民生委員、町内単位での見守り等から気になる人への訪問実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 各見守り団体との連携。 町内やご近所同士の見守り意識が高まるような働きかけが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座「地域包括ケアシステム」および「認知症を知ろう」でのPR 各地区協議体との連携、市報への掲載 RUN伴新潟への参加
	<p>【行方不明時の早期発見・保護】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り安心ステッカー登録者数：50人 （内14人削除） 徘徊高齢者等のGPS登録者数：1人 徘徊シルバーSOSネットワークシステム ：防災無線1件（延べ4回）、メール4件（延べ14回） 	<ul style="list-style-type: none"> 家族等の協力が得られない徘徊高齢者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の継続と評価
⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進。			
⑦認知症の人やその家族の視点の重視			